

オブトアウト

研究課題名	胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡下胃局所切除術についての後向き観察研究
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院 消化器外科副部長 小林 建太
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院 消化器外科副部長 小林 建太
研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 6 日
研究の目的と意義	胃粘膜下腫瘍に対する手術治療は胃局所切除術が標準術式となっています。腹腔鏡下胃局所切除術においては、胃内腔解放による術中腫瘍散布が問題となりうるため、内腔を開放しない CLEAN-NET(Combination of laparoscopic and endoscopic approaches to neoplasia with non-exposure technique)法を当科で導入しました。従来法との手術成績を比較し安全性を確認することを目的としています。
本研究の対象となる方	2018 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 30 日の期間に腹腔鏡下胃局所切除術を行った 62 例
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、病理学的結果、検査情報、手術情報、術後在院日数、術後合併症情報 等
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理します。
問い合わせ先（拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 消化器外科副部長 氏名：小林 建太 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1－5 電話：048-852-1111